

糖尿病の治療継続の必要性

糖尿病治療の中断は、微小血管障害(網膜症、腎症、神経障害)の発症を高めることが報告されています。このような合併症が起きることで、治療を継続されている患者様と比べて入院リスクが高まり、最終的な医療費も増えやすくなるとされています。

眼底検査の必要性

糖尿病は高血糖や低血糖などの血糖変動により様々な血管に影響を与えます。特に細い血管への影響が大きく、指先や腎臓、眼と細い血管が多くある場所で症状が出やすく三大合併症とも言われます(網膜症、腎症、神経障害)。

糖尿病を管理・治療する中で、内科での受診で状態が把握できないのが網膜症です。網膜症は進行すると眼底出血を引き起こし、失明することもあります。状態の観察には眼科での眼底検査が必要となります。網膜症は初期の段階では症状がでにくく、視力の低下や視野の狭窄など症状進行してから気づくことも多くあります。

定期的に眼科を受診し、眼の状態を把握することが重要です。眼科受診したことがない方は是非一度眼科を受診し検査を受けてみてください。



正常な眼底

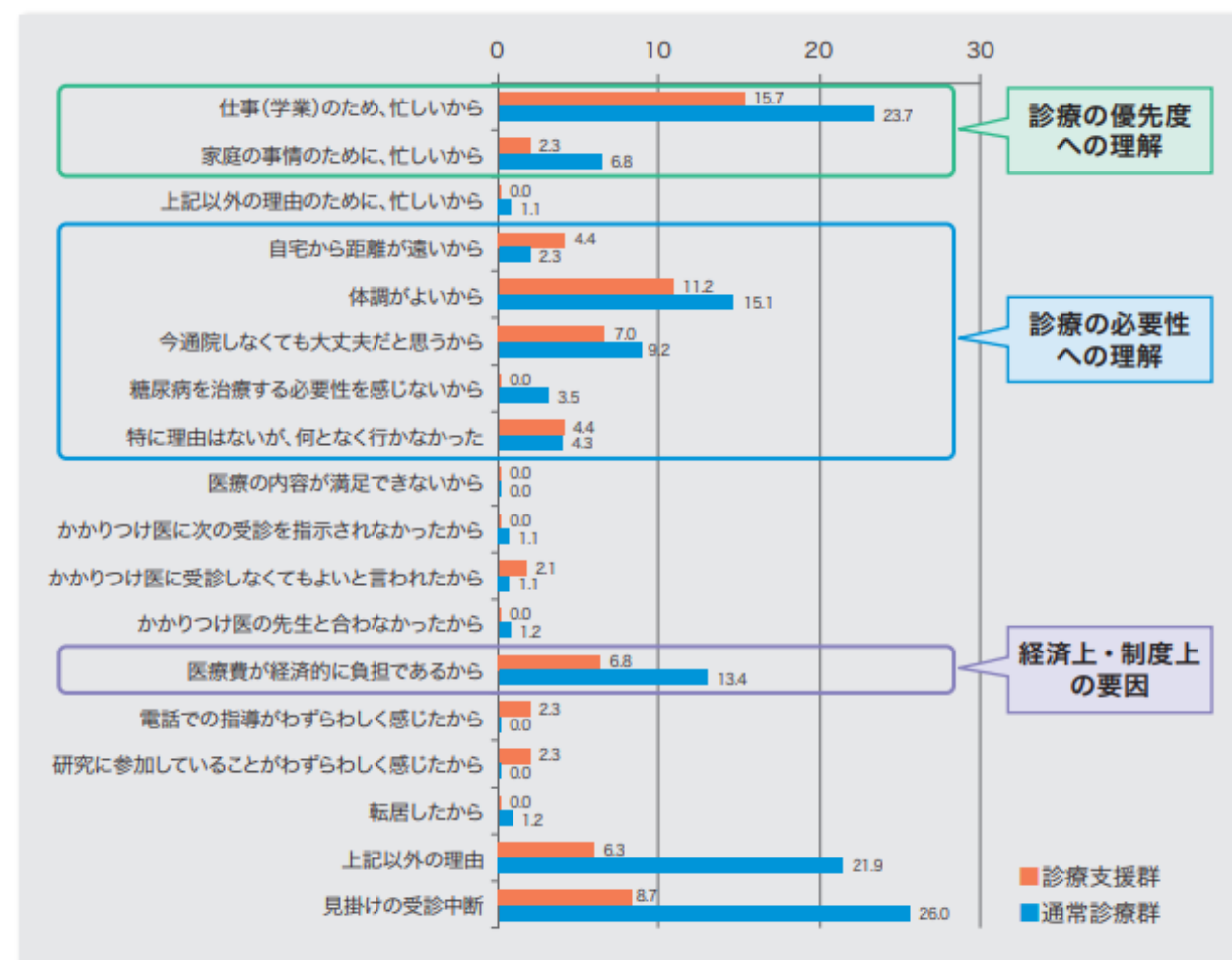


糖尿病網膜症の眼底



図. 1,000人年当たりの受診中断理由数 (J-DOIT2 全体*, 複数回答可)

*パイロット研究+大規模研究、回答率: 87/225=38.7%



受診中断の理由は「忙しいから」が最も多く、特に働き世代の若い方に多いとされています。

天満病院では、普段の診療時間内の受診が困難な方のために糖尿病夜間外来を実施しております。過去に健康診断などで「血糖値が高い」等と指摘を受けられたことがある方や、ご自身の血糖値に不安がある方は、一度糖尿病の専門医に受診をされてみてはいかがでしょうか？

【糖尿病夜間外来 実施日】 毎月第1火曜日 18:00~21:00
※完全予約制ですので、受診の前日までに天満病院受付までご相談ください